

学術知共創プログラム

◆課題： 新たな人類社会を形成する価値の創造

◆研究テーマ： よりよいスマートWEを目指して:東アジア人文社会知から価値多層社会へ

研究期間:R4.6~R10.3

委託費総額:114,660千円

<研究代表者>

出口康夫:京都大学大学院文学研究科/教授



<専門分野>

確率論・統計学の哲学、科学的事実論、シミュレーション科学・カオス研究の哲学、カントの数学論、スコールの数学思想、分析アジア哲学など

<Webページ>

<https://www.smart-we.bun.kyoto-u.ac.jp/>

<研究計画の特徴>



<研究目的・概要>

国内外で生活空間のスマート化・DX化が進む中、リアル/バーチャルなWE(人間関係・絆・共同体)が貧困化=WE問題



リアルなWEを豊穰化し、バーチャルなWEを健全化する処方箋を提示

- 1) 東アジアの思想伝統に着目し、「できなさ」を基軸とする人間観・相互委譲的ネットワークとしての社会観を提案
- 2) 新しい人間・社会観を具現化した合意形成・人的交流支援ツールの開発と検証により、WE問題の解決策を提案



WE問題を軸とした理念レベルと現場密着レベルの両次元を通貫する提案により、価値多層的社会の実現を目指す

<目標とする研究成果>

(1)根源的「できなさ」に基づくオルタナ価値観の構築

スマート化によって増悪する西洋近代的人間・社会観を、東アジア的オルタナ価値観によって相対化・非自明化する

(2)よりよいWEのためのツール開発と効果の検証

福井県越前市と小田急沿線という2つのフィールドにおいて、それぞれ合意形成支援ツールと人的交流支援ツールの開発と検証を行う

<将来展望>

人間・社会観の多層化とWE問題という現代的課題の解決策の提示を相互反照的に遂行する新たな人文社会学のパラダイムを学界と社会に発信する